

市川 猿之助 宇和島歌舞伎 『伊予の宇和島伊達舞台』公演

1月31日・2月1日

歌舞伎俳優の市川 猿之助さんによる宇和島歌舞伎、『伊予の宇和島伊達舞台』が南予文化会館で2日間に渡り行われました。

3度目の来宇となる猿之助さん、今回は伊達にちなんだ演目として、「助六」を素踊りで、また「女伊達」を歌舞伎舞踊として披露しました。

化粧や華やかな衣装のない状態で演じる素踊り「助六」では、役者の表情や所作が良くわかり、迫力ある舞が終わると盛大な拍手が起こりました。



歌舞伎舞踊「女伊達」は、男役との派手な立ち回りを繰り広げる「所作ダテ」を見所とした舞台となっており、派手なアクションに会場からは驚きと歓声が起こっていました。

2日目の2月1日(土)には、『伊予の宇和島伊達舞台』以外にも、「お練り」、「歌舞伎のイロハ」、「宇和島城華舞台」など関連イベントが多数行われました。

中でも、「歌舞伎のイロハ」では、伝統文化を未来へ伝えるというテーマから、トークセッションや、歌舞伎鑑賞教室などが行われ、宇和島さんさを学ぶ子どもたち4人が猿之助さんから、歌舞伎の見栄を切る所作を教わる場面もありました。



その後、宇和島城の天守前広場を舞台に行われた「宇和島城華舞台」では、宇和島の郷土芸能の披露と猿之助さんのトークショーが行われ、猿之助さんは「天守最上部からの景色が大変素晴らしい。」と話していました。

春一番ののどごし 津島しらうお&産業まつり

1月26日

1月26日(日)、津島町の岩松川おまつり河原にて「津島しらうお&産業まつり」が開催されました。

会場には、開始直後にもかかわらず、大勢の来場者が目当ての郷土料理や産物を求めて賑わいました。

毎年恒例の「大食い大会」には20人の老若男女が参加。参加者は、薄皮まんじゅうを口いっぱいにはお張り、大食いの記録にチャレンジしました。チャンピオンに輝いたのは、今回で2連覇の原口さん(宇和島市)でした。



「体験しらうお漁」には、松山市から来場した澤田さん一家が挑戦しました。ゆっくりたぐり寄せた網の中に小さなしらうおを見つけると、つるりと口に放り込み、自分たちで初めてとった早春の味を楽しんでいました。

丸山公園への電波時計 寄贈に感謝状贈呈

1月21日

1月21日(火)、市にポール式電波時計を寄贈された、国際ソロプチミスト宇和島の皆さんへの感謝状の贈呈式が市役所にて行われました。

国際ソロプチミストは職業や資格を持つ女性の国際的なボランティア組織で、地域と世界の女性・女兒のために活動しています。今回寄贈されたポール式電波時計は丸山公園に設置されました。

石橋市長は、「丸山公園周辺はソフトボールや陸上競技場などで利用者が多い場所ですが、平成29年度のえひめ国体の会場に使用されることが決定しており、今後、利用が増えることが予想されています。利用者が見やすい、立派な電波時計を寄贈いただき、大変感謝しています。」と謝意を述べました。

